

提案書評価基準

本プロポーザルにおける各提案者の評価は次の評価点の合計点（満点 200 点）により特定するものとする。

- ・ 審査委員会委員による評価点（満点 140 点）
- ・ 市内障害福祉サービス事業所へのアンケート結果による評価点（満点 50 点）
- ・ 見積価格（満点 10 点）

※なお、配点項目毎の点数は、小数第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位までとする。

1 審査委員会委員による評価点

評価項目	評価の着目点	配点	評価	評価点
テーマ・コンセプト (インクルーシブ)	整備内容が、周辺の景観や地域特性に合った、独創性のある魅力的な提案（遊具や植栽のデザイン、配置等）となっている。	10		
	年齢や障がいの有無、体格、性別などに関わらず、誰もが利用しやすく、楽しめる遊具となっている。	20		
	ユニバーサルデザイン・インクルーシブに配慮した遊具周りや動線となっている。	20		
	子どもたちの五感や好奇心を刺激する遊具となっている。	10		
エリアトータル コーディネート	既存施設との一体性が図られたものとなっている。また、既存施設に不足している遊びを提供できる遊具となっている。	10		
	スペースを有効活用した提案になっている。	10		
安全に対する配慮	クッション性のあるゴムチップの利用など、安全対策が講じられている。	10		
	絡まり、引っ掛かり、落下、挟み込みなど、予期せぬケガへの対応が適切である。	20		
維持管理	劣化の軽減に配慮し、耐用年数が長くなる耐久性のある材料を使用している。	10		
	耐用年数及び保証期間が長く、かつ維持管理費が抑えられており、日常点検や修繕を容易に行うことができる。	10		
自由提案	公園の魅力が向上するような積極的な追加提案や独自提案となっている。	10		
小 計		140		

※評価配点（係数）

A：優れている（×1.0） B：やや優れている（×0.75） C：普通（×0.5）
D：やや劣る（×0.25） E：評価できない（×0.0）

2 市内障害福祉サービス事業所へのアンケート結果による評価点

市内の児童向け障害福祉サービス事業所に、提案者から提出のあった完成予想イラスト及びインクルーシブに配慮した事項をまとめた説明書を配布し、最も評価する提案についてアンケート調査を実施する。

3 採点方法

区分	採点方法	評価点 (割合)
審査委員会委員による評価点	6人の評価点を評価項目毎に平均し、 140点満点に換算	140点 (70%)
市内障害福祉サービス事業所への アンケート結果による評価点	得票数 ÷ 最高得票数 × 50点	50点 (25%)
見積価格	予算上限額に対する割合が、1%減額 となる毎に1点 ※小数点以下は切り下げ	10点 (5%)
合 計		200点 (100%)